

各方面に配慮し、限られた財源を重点的・効果的に配分しながら、質の高い行政サービスを維持することに苦心され、市民生活の発展と地域経済の活性化を図るべく、まさに選択と集中による苦渋の選択をされた予算編成の結果であると真摯に受けとめる。

平成30年度は、地方創生の核となる複合施設の8月オープンを皮切りに、同一拠点内に地元食材活用レストラン、農産物等販売施設が整備され、稼働する予定であり、本予算を適正・確実に執行することで、にぎわいが創出され、「人暮らし環境が活きる交流拠点都市づくり」が着実に進展することを大いに期待するものである。

以上の理由から第27号議案に賛成である。

賛成

菊地 忠久

現在の本市の財政状況は、これまでさまざまな機会で議論されてきた。

財政が厳しい主な理由は、平成20年度からの白石市外二町組合に対する出資金、補助金、

負担金の増額によるものである。この10年間で基準外を含め、実に約127億2千万円もの額を刈田病院へ投入したことになる。

しかしながら、これは間違ったものではないと私は考える。刈田病院を支援するということは、白石市民の安心を守り、健康を守り、そして命を守るということにほかならない。この世の中に、命以上に重いものは存在しない。

今、新年度が目前に迫り、刈田病院の常勤医師数も増える兆しが見え、市民の安心がさらに大きなものになることを確信するとともに、今後の刈田病院の経営改善にも大いに期待するものである。

平成30年度一般会計予算案に目を向ければ、目の前の課題に対応しながら、将来を見据え、ゼロベースで聖域なく事業の見直しや補助金等の見直しを行なった、大変苦労されたことがうかがえる内容となっている。

35人以下学級は休止されるとはいえず、そのほかの教育分野には手厚い予算配分がなされており、子育て支援を強力に推

進する子育て支援多世代交流複合施設によって、本市の子どもの健やかな成長とたくましい心の育成が大いに期待できる。

また、第5次白石市総合計画地域計画において策定した各地区のまちづくり宣言を具体化するための財政措置、すなわち各地区のまちづくり協議会などに対するまちづくり交付金は減額されることなく、わずかとはいえず、むしろ増額となっている。それぞれの地域特性を生かし、個性あふれるまちづくりを実施し、地域住民の生活の質の向上と、市内全域それぞれで地域活性化を図る「市民主役のまち」実現へ引き続き期待できるものである。

本案は、限られた財源の中、総じて将来を見据え、しっかりと選択と集中が図られながらも、バランスに配慮された予算案となっている。

以上の理由から第27号議案に賛成である。

第430回 市議会定例会予算審査特別委員会（3月2日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	委員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			佐藤龍彦	保科善一郎	伊藤勝美	澁谷政義	沼倉啓介	平間知一	菅野恭子	志村新一郎	大野栄光	山谷清	四竈英夫	小川正人	菊地忠久	佐藤聡一	佐藤秀行	松野久郎	大町栄信	佐久間儀郎
第27号議案 平成30年度白石市一般会計予算		原案可決	×	×	×	○	×	委	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した委員、「×」⇒反対した委員、「欠」⇒欠席した委員、「委」⇒委員長のため表決に加わらない

※予算審査特別委員会は議長を除く全議員で構成される

第430回 市議会定例会（3月9日） 意見が分かれた議案の賛否一覧

件名	議員氏名	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
			佐藤龍彦	保科善一郎	伊藤勝美	澁谷政義	沼倉啓介	平間知一	菅野恭子	志村新一郎	大野栄光	山谷清	四竈英夫	小川正人	菊地忠久	佐藤聡一	佐藤秀行	松野久郎	大町栄信	佐久間儀郎
第27号議案 平成30年度白石市一般会計予算		原案可決	×	×	×	×	×	×	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※「○」⇒賛成した議員、「×」⇒反対した議員、「欠」⇒欠席した議員、「議」⇒議長のため表決に加わらない